

## ニュースリリース

2022年12月21日  
メルクエレクトロニクス株式会社

※本ニュースリリースはドイツ・ダルムシュタット12月15日発表英文ニュースリリースの抄訳です。

### メルク、「コンシューマー・エレクトロニクス・ショー (CES 2023)」にてテクノロジーとアプリケーションを紹介

- 業界のエキスパートやパートナーと共に、メタバースやデータコラボレーション、ニューロモルフィックコンピューティング等の最新テーマを議論するパネルディスカッション「Tech Talks」を開催
- メルク経営執行委員兼エレクトロニクス・ビジネス CEO、カイ・ベックマンが CES 主催団体である全米民生技術協会 (CTA) 後援のパネルディスカッションに登壇

2022年12月15日付、ドイツ・ダルムシュタット発、世界有数のサイエンスとテクノロジーの企業である Merck (以下メルク) は、2023年1月5日(木)から8日(日)に開催されるコンシューマー・エレクトロニクス・ショー (CES) 2023 に出展し、デジタルリビングを進化させるテクノロジーとアプリケーションをご紹介します。

5日(木)と6日(金)には、当社幹部と業界のエキスパートやパートナーによる「Tech Talks」を開催、また7日(土)には、メルク経営執行委員兼エレクトロニクス・ビジネス CEO であるカイ・ベックマン (Kai Beckmann) が、当社として初めて、CES を主催する全米民生技術協会 (CTA) の後援を受けたパネルディスカッション「The Metaverse is Here to Stay」に登壇します。業界をリードする方々と共に、メタバースがビジネスに与える影響、また真の没入型拡張現実 (AR) / 仮想現実 (VR) ハードウェアの実現におけるメルク製品の重要性について議論します。

メルクは2021年、エレクトロニクス・ビジネスのイノベーションと生産能力向上に向け、2025年末までにアジア、アメリカを中心に30億ユーロを超える投資を行うことを発表しました。これによりメルクは、AI、ビッグデータ、IoT、5Gなどのメガトレンドによる成長機会を生かし、生産能力の向上、エレクトロニクス向けの新技术と材料のイノベーションを実現します。またメルクは2022年1月、「Level Up」成長プログラムの一環として、2,800万ドルを投じてアリゾナ州フェニックスに新工場を建設することを発表しました。同工場は、北米におけるメルクの高純度・化学品輸送システム事業の成長を促進します。



## ニュースリリース

### CES 2023 の Tech Talk のスケジュール

ラスベガス・コンベンション・センター・ノース・ホール  
ブース番号 9217

※日時は全て太平洋標準時（PST）です。



### 1月5日（木）

- **12:00 p.m. : 「The Game Changers: Technologies Shaping the Future of the Gaming Experience（ゲームチェンジャー：ゲーム体験の未来を形成するテクノロジー）」**  
ビデオゲームの今後を形成するテクノロジーイノベーションとはどのようなものでしょうか。また、それらはゲーム体験にどのような影響をもたらすのでしょうか。ここでは、急速に変化するゲーム業界に影響を与える3つの重要なトレンドであるニューロテクノロジーとウェアラブル、フォースセンシングソリューション、高精細度ディスプレイについて掘り下げます。メルクのほかに米 [Neurable](#) 社（レイン・コンピュータ・インターフェース開発企業）と英 [Peratech](#) 社（圧力検出タッチスクリーン技術の開発企業）も参加し、話題性のあるゲーム業界のトレンドと可能性について議論します。
- **2:30 p.m. : 「Digital Optics & the Metaverse: Hardware that Opens the World up to New Virtual Worlds（デジタルオプティクスとメタバース：新しい仮想世界の扉を開けるハードウェア）」**  
現在、ユーザーはゲーミングヘッドセットやスマートフォンを通じてメタバースにアクセスしています。VR、XR、ARのイノベーションが、技術に詳しい限られた層だけでなく、一般消費者の日常生活にも新しい可能性をもたらし広く普及するためには、ハードウェアとテクノロジーのユーザビリティ、快適性、シームレスな融合が不可欠です。ここでは、米 [Metalenz](#) 社（メタ光学技術開発企業）とメルクの担当者が、より軽量で薄いデバイスの実現、優れた視覚体験、演算能力の向上、エネルギー効率の向上など、あらゆる人がメタバースを楽しめる未来の実現のために必要な素材やデバイスのイノベーションについて議論します。

### 1月6日（金）

- **12:00 p.m. : 「Data Collaboration Done Right: Key Lessons from Across Industries（適切なデータ分析コラボレーション：各業界から得られた教訓）」**  
半導体産業と航空産業は、サプライチェーンと製造プロセスが複雑化している点で共通しています。半導体がエレクトロニクス業界のイノベーションの原動力となる中、最重要事項にリソースを



## ニュースリリース

集中できるようなデータエコシステムを構築するスマートかつスケーラブルなデータと分析能力が求められています。ここでは、米 [Palantir](#) 社（データ分析企業）、[Athinia](#) 社（半導体サプライチェーンのデータ分析プラットフォーム）、[Micron](#) 社およびメルクの担当者が、データコラボレーションのパワーについて議論し、業界を超えて応用できる洞察を提供します。

### ■ 2:30 p.m. : 「**Neuromorphic Computing: How Brain-Inspired Technology is Bringing Man & Machine Closer Than Ever**（ニューロモルフィックコンピューティング：かつてないほどに人と機械を近付ける、脳から着想を得たテクノロジー）」

過去 50 年間、コンピューティングパフォーマンスはムーアの法則に則って成長してきましたが、小型化の限界に伴い、今後はソフトウェア、アルゴリズム、ハードウェアがパフォーマンスの向上を牽引すると予測されています。そして、AI の展開とそれに伴う膨大なデータ処理に効率的に対応するために、ニューロモルフィックコンピューティングのような新しいコンピューティング・パラダイムが台頭しています。ここでは、米 [MemryX](#) 社（エッジデバイス向け AI アクセラレータを提供するスタートアップ企業）、米 [Celestial AI](#) 社（AI アクセラレータ開発企業）、[M Ventures](#) 社（メルクのスタートアップ支援ファンド）およびメルクエレクトロニクスの担当者が、人の脳の仕組みをモデルにしたニューロモルフィック・チップについて対談します。

### 全米民生技術協会カンファレンスセッション

ラスベガス・コンベンション・センター・ノース・ホール（Room 258）にて開催

※日時は太平洋標準時（PST）です。

### 1月7日（日）

### ■ 3:00 p.m. : 「**The Metaverse is Here to Stay**（メタバースの普及）」

メルク経営執行委員兼エレクトロニクス・ビジネス CEO のカイ・ベックマン（Kai Beckmann）が業界をリードする方々と共に、メタバースがビジネスに与える影響や、メルク製品が真の没入型 AR(拡張現実)／VR(仮想現実)ハードウェアの開発において果たす役割について議論します。

メルクブースでは、Tech Talks に加えて、[eyrise® Dynamic Liquid Crystal Glazing](#)（液晶ウィンドウ）の実演や、業界のエキスパートとお会いできる機会をご用意しております。

### メルクについて

Merck（メルク）はヘルスケア、ライフサイエンス、エレクトロニクスの分野における世界有数のサイエンスとテクノロジーの企業です。より豊かで持続可能な暮らしを実現し何百万人もの人々の日々の生活にプラスの変化をもたらすため、遺伝子編集技術の進歩や最も困難な病気を治療するための方法の発見から、デバイスのインテリジェンスの実現まで、約 60,000 人の従業員が技術の一層の進歩を目指しています。2021 年は 66 カ国で 197 億ユーロの売上高を計上しました。





## ニュースリリース

メルクは 1668 年に創業された世界で最も歴史の長い医薬・化学品会社で、創業家が今でも、上場企業が率いるグループの株式の過半数を所有しています。メルクの名称およびブランドのグローバルな権利は、メルクが保有しています。唯一の例外は米国とカナダで、両国では EMD セローノ、ミリポアシグマ、EMD エレクトロニクスとして事業を行っています。

### メルクエレクトロニクス株式会社について

メルクエレクトロニクス株式会社はメルクのエレクトロニクス・ビジネスの日本法人です。液晶材料の輸入販売および半導体製造用特殊化学品の研究開発、販売を行っています。メルクのエレクトロニクス・ビジネスの詳細については <https://www.merckgroup.com/jp-ja/company/who-we-are/electronics.html> をご覧ください。

